

明けましておめでとうございます

井原地区社会福祉協議会

会長 沼崎 洋三

「過ぎた年を振り返り、迎えた年の心構えを描くのが年初の音」

地域の特性を見据えた見守り・支え合いの推進



宮島 弥山から眺めた日の出
平成31年 元旦

心新たにを迎える新年。今も残る豪雨の傷跡。様々な被害に会われた方、神ノ倉山地すべりの危険性に避難対象となられた集落の方々には、その心痛はいかばかりかとお察し致します。

近年、日本をはじめ世界各地で異常発生し迷走する台風、大森林火災そして地殻変動による地震等々。まさに複合災害の発生を呈しています。

特に気象災害の要因の多くは地球温暖化に帰するところとされ、多くの国々が努力を呼びかけてはあるものの、道はたやすくないでしょう。この異常が正常となる恐れを危惧しながらも災害のない穏やかな年になるようにと願わざにはいられません。

家族のあり様が大きく変化

同じ変化でも、今や日本は世界でも先進的な高齢化社会を迎えたと云われています。世帯の縮小と共に単身世帯が標準となり、2020年には33%を占めると推測(財務省)されています。

井原地区における一人暮らし高齢者世帯だけでも約80。全世帯数の20%にあたり、更に人口減少を伴うであろう当地域の将来を想像できます。しかし。来る時代を予測し、広島市も高齢者福祉を含め、地域の人たちが共に分担し、共に見守り支えあう共生社会の必要性とその実現に様々な施策(プラン)を打ち出しています。

現状と将来を見据え、私達が住む井原を「どのようなまち」にしたいか。約2年にわたり、皆さんと話し合い、その想いを「めたスローガンです。

「福祉のまちづくり」プランの第一次5カ年計画として策定されました。基本柱として「安全で安心して暮らせるまちづくり」「支えあい・助け合いのまちづくり」など5つの柱と、実現を目指す具体的な活動が策定されています。

今年度は、5ヵ年計画総括の年となりました。私達が議論し実現を目指して行動した「まちづくり」を共に検証し、そして、様々な環境の変化に対応した「新しいまちづくり」を目標に話し合いをしようではありませんか。

周知のことですが、共生社会の実現には家庭内での支えとする「自助」、そして社会福祉制度などの「公助」と共に、隣近所とのお付き合いをはじめとし、社協を含め地域に組織された諸団体が共に見守り・支え合う「共助」にあるとされています。今望まれているのは、地域に即したネットワークづくりといわれています。

このような備えがあるならば、自然災害のみならず、今後増加が危惧される認知症高齢者への対応など、種々高齢化社会が直面する諸問題に対応できるものと考えられています。

話輪・和三の「わ」で支え合つまち「いばら」

一人暮らし高齢者の集い 2018.12.12 井原会館にて



社協最大の行事、敬老祝賀会が中止を余儀なくされた昨年、例年参加の皆様に好評の標記集いに今年も19名の皆様がお集まりくださいました。

オカリナアンサンブル『音の小箱』との仲間たちの生演奏に合わせて、懐かしい唱歌や流行歌と一緒に歌って、いづみ子ども園の年長組の皆さんによる歌や踊り、ふれあいを通して沢山のエネルギーを受け取つていただきました。



福祉研修会を開催します

- ・日時：平成31年1月26日(土)
10時～12時
- ・場所：井原会館 1Fホール
- ・講師：白木地域包括支援センター
- ・内容：「白木町における高齢者施策推進プランについて」
お説明合わせて多数
ご参加ください！

あたたかい御厚志
ありがとうございます

9月	小田	金羽木	良治	様
10月	甲田	三木	浩太郎	様
11月	下市	平岡	香	様
12月	甲田	西山	浩治	様
1月	下市	牧	鈴子	様
	古川		泰	様

左記の皆様から香典返しとして、多額のご寄付をいただきました。皆様の地域福祉に対するご理解とご協力に厚くお礼を申し上げ、ここに報告いたします。
(平成30年9月～平成31年1月)



井原地区社会福祉協議会に対し、地域福祉に対するご理解とご協力にご寄付をいただきました。

左記の皆様から香典返しとして、多額のご寄付をいただきました。皆様の地域福祉に対するご理解とご協力に厚くお礼を申し上げ、ここに報告いたします。

平成30年11月29日付け

◎広島市社会福祉協議会会長表彰

- ・中村 宣義(評議委員 11年6ヶ月)
- ・佐々木 恒(評議委員 10年7ヶ月)

平成31年2月12日付け

◎安佐北区社会福祉協議会会长表彰予定

- ・山縣 利典(評議委員 9年6ヶ月)
- ・廣畑 一孝(評議委員 9年6ヶ月)
- ・佐久間 和枝(評議委員 9年6ヶ月)

事務局だより

長年、地域福祉活動に貢献された方々が表彰・表彰予定されました

地域福祉功労者 表彰(敬称略)

『編集後記』

昨年は「災」の多い年でした。一年を表す漢字も「災」、7月の西日本豪雨では井原も大きな被害を受けました。復興もまだまだです。安心して暮らせる町に早くなってほしいですね。

波乱に満ちた平成も残りわずかとなり、5月には新しい年号になります。希望に満ちた幸多い時代になればと願うばかりです。

もう少し寒い日が続きます。お体を大切に毎日をお過ごしください。亥年が皆様にとって良い年となりますようお祈り申上げます。